

体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分
1泊2日

■ 実施主体

地域住民で組織する実行委員会

■ 参加対象

小学1年生～中学3年生

■ 実施・宿泊場所

地区公会堂・寺院

■ 事業の目的

- ☑ 地域の高齢者と一緒に昔からの遊び体験を通して交流を図り、グループで協力することで協調性を育む
- ☑ 遊び道具を創作することで、創造する力を育む

■ 体験活動の内容

昔の遊び体験・クラフト体験（ゴム鉄砲の製作、水鉄砲の製作、紐釣りゲーム、射的ゲーム） など



■ スケジュール

時間	1日目(土曜日)	2日目(日曜日)
6:00	-	・起床(6:00) ・ラジオ体操 ・朝食
12:00	・現地集合 ・開校式(13:00～) ・自己紹介 ・クラフト体験 ・射的ゲーム(団体戦)	・クラフト体験 ・紐釣りゲーム(団体戦) ・スイカ割り ・閉校式(13:00)
18:00	・夕食 ・入浴(水遊び) ・読み聞かせ(怖い話)	-
21:00	・肝試し ・就寝(21:00)	-

■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容	歳出項目	金額	内容
補助金	28,000円	県補助金	報償費	3,000円	講師謝礼
参加者負担	20,000円	500円 ×40人	旅費	0円	-
団体負担	8,000円	-	需用費	50,000円	食糧費 材料費 消耗品費 感染症対策
合計	56,000円		役務費	0円	-
			使用料	3,000円	施設使用料 コピー代
			合計	56,000円	

Point

補助金額は補助対象経費の
1/2 以内（上限あり）

■ 工夫した点

- ☑ 地域の高齢者が事業に参加し、昔ながらの遊びを子供たちへ教えることで、異世代交流を図った
- ☑ 夏休み期間を活用して実施した。製作した水鉄砲を使いながら水遊びをすることで、入浴のかわりとした
- ☑ クラフト製作に使用するための消耗品や玩具類を需用費で購入した（事業実施に必要な玩具類と判断されるため補助対象経費）